

# AOZORA

1 学年通信 12 月号



**12月になりました。**

**今年も残りわずかです！**

**新しい年を迎える準備をしよう。**

## 私の冬休み



みなさんは冬休みをどう過ごしていますか？家族と家でゆっくりする人、親の実家に行く人、旅行に出かける人などいろいろかと思いますが、私は年越しのライブに行くことがここ数年の冬休みの楽しみです。

ふだんから音楽のライブにはいきますが、やはり年越しのライブの楽しさは別格！好きな音楽で1年を終えて、好きな音楽で1年が始まる…。また今年から頑張ろうと、気持ちが晴れやかになります。

みなさんには、冬休みだからこそできることをぜひしてもらいたいなと思います。1年の区切りの季節に、新しいことを始めるのもよし、今までやってきたことをとにかく頑張るもよし。ぜひ、有意義な冬休みを過ごしてください。

関野志展

## 2学期を終えて



早いもので、もう2学期が終わろうとしています。2学期は、七沢に行ったり、むつみの祭があったりと行事が多くありましたね。また、定期試験も2回あり、非常に忙しかったですね。その中で、皆さんは大きく成長したと思います。少しずつまとまりのある集団へと変わりつつあります。

冬休みが終わると残り3ヵ月で2年生になります。先輩と呼ばれる立場になるわけですね。新しい1年生の見本になれるようになってもらいたいです。さらなる成長を期待しています。

井上颯

12月は「人権週間」があります。睦合中ではその一環として、友達の良いところを見つける、「Good Story 作文」を書きました。今回は、クラス代表に選ばれた4作品を紹介します。

## 「最高の思い出」

私は、1年1組のみんなに感謝しています。

私は、むつみの祭をととても楽しみにしていました。合唱練習が始まった頃はおしゃべりが多くて、なかなか上達せず、不安でした。でも、練習を重ねていくうちに、みんなのやる気が高まってきて、一生懸命練習できるようになりました。毎日、のどが痛くなることもあったけれど、みんなでみんなのために頑張りました。

準備や片付けも、みんなが動いて、とてもいい雰囲気でした。歌も上達していきました。そして、とうとう迎えたむつみの祭当日！当日のことでクラスみんなに感謝したいことが、3つあります。

1つ目は、私たちの出番が来るまで、「笑顔で歌おう！」という声掛けが、たくさんあったことです。そのおかげで緊張がほぐれ、みんなで頑張ろうという一体感が生まれたと思います。

2つ目は、全員で歌えたことです。当日体調がすぐれない人もいて心配したけれど、みんなのために頑張ってくれました。クラスの全員でステージに立てたことは、本当に嬉しかったです。

3つ目は、頑張ったご褒美がついてきたことです。結果はどうであれ、達成感があったと思うけれど、やっぱり一生懸命やった練習の成果が結果に残せたことは嬉しいことです。

1年1組のみんなのおかげで、とっても良い思い出になりました。

みんな、ありがとう。

1年1組 神田桃伽



(裏面につづく)

### 「支えてくれた仲間」

私は、友達を本当に大切にしようと思ったことがあります。

私は、むつみの祭で実行委員になり、クラスをまとめなければならない立場でした。しかし、私はうまくまとめることができませんでした。練習で、女子はお話をして盛り上がり、男子は鬼ごっこや叫ぶ人たちが盛り上がり。もう1人の実行委員のゆとりさんや、伴奏のゆめかさんが呼びかけても、その声はかき消されてしまいました。そのとき、私の心は不安でたまりませんでした、この先、練習は進むのだろうか。そして、ゆとりさんとゆめかさん2人の気持ちを思うと、心が本当に痛みました。そんな不安がつりながらも、練習の日々は流れるように進んでいきました。

本番まであと1週間のころ、クラスのラインでこんな話が流れました。「合唱、明日もあるのダルイ」。その言葉に怒る人や謝る人…クラスは完全にバラバラになってしまいました。その時、私はもう何をすればいいかわからなくなってしまいました。そんなとき、同じクラスの村上桃さんが、みんなにしっかりするように！と声をかけてくれました。そうしたら次の日、練習前の準備に取りかかろうとすると、半分以上の人が準備を手伝ってくれてました。毎日うるさかった人たちまで…。私は、この時とてもうれしかったです。このまま本番まで良い雰囲気で行けると思っていました。

しかし、本番前日の朝練、クラスでの食い違いが起き、泣いてしまったり、怒ってしまったりする人もいました。私は、自分が最初からその状況を止められなかったことの悲しさと、明日なのにどうしようという不安、そして今までのストレスが爆発して泣いてしまいました。

そんなことがありましたが、クラスの人たちの協力で、本番当日の最後の練習では今までで1番いい練習ができました。そして、本番の合唱では、私たちは全員本気で歌いました。結果は優良賞でしたが、私は、1年2組はこんなにも成長したんだと実感しました。



仲間の思いやり、きずな、悲しみや苦しさを乗り越えた私たち1年2組の今までが、私が思う1番のGood Storyです。

1年2組 木村純菜

### 「2人から みんなへ クラスの絆」

私は、津久井涼凧さんと山田百華さんに感謝しています。

それは、七沢自然教室のスタンプを休み時間や放課後、そして自分の大切な夏休みの時間を使って考えてくれたからです。

七沢について決め事するときには、前に出てきて指示したり、素敵なアイデアを提案するなど、スムーズに進行してくれたおかげで、早い時期に劇を行うことが決まりました。

そして、クラスの意見からモニタリングをパロディでやり、その中で今年はやっていたダ・パンプのUSAのダンスをやることで話しが進みました。それ以降、クラスらしさを表しながら、クオリティの高い台本を作成してそれをもとに練習が始まりました。その練習も2人が中心となって進め、特にダンスでは山田さんは、アレンジを加えながら練習を進めました。また、ダンスの練習の合間に、津久井さんが中心となって劇の練習を進め、セリフや動きなど細かなところまでそれぞれの役に指示をし、日に日に完成度が増してきました。

2人のおかげで本番でも全員が楽しく取り組み、全員が笑顔で終われることが出来ました。そうなれたのも山田さんと津久井さんが中心となって進めてくれたからです。そんな2人に私はたくさん感謝しています。



1年3組 内田乃愛



### 「ひまわり級のいいところ」

田中君はぼくとキャッチボールをして僕を楽しませてくれます。

とうや君はカードをつくってみんなを楽しませてくれます。

そうた君はいつも歌を歌っていたのしそうです。

小林さんはいつも元気が良くてまわりを元気にしてくれます。

ひなこさんは元気があってすごいと思います。

航ちゃんは物知りでいつも歴史の問題を出してくれます。

としき君はいつも落語の話をしたり、オリジナルのコマーシャルをつくっています。

しょう君はいつも話を聞かないで小菅先生に叱られています。泣かないしょうくんが好きです。

ダーラ君は相撲のことが詳しいです。いつも相撲のことで笑っています。PCで番付を調べながら、小坂橋先生を親方と呼んでいます。

小川さんはいつも遅刻をしておこられて、秘密のことをいうと告げろしたりしつこいですが、優しいです。

だいきくんはひまわり級にたまにしか来ないけどあいさつが良かったです。

ひまわり級は変な人ばかりですけど、これからもがんばっていきます。

むつみの祭では、ひなこさんがとくにすごかったです。航ちゃんも声が良かったです。田中君はけんかが強くて、とうやくんは卓球がうまいし、ダーラ君は相撲が得意です。中川君は家庭科に集中しています。

みんな得意なことがちがって、やさしい。そんなひまわり級が好きです。おわり。



1年4組 上月環